

第 164 回エイズ動向委員会
HIV 感染症に関する NDB 集計
(2025 年 3 月度)

奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 准教授
野田 龍也

- この集計について

匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）は国民皆保険制度を有する我が国における保険診療の全数調査であり、1億2千万人の医療受療状況のデータがほぼすべて格納されている。NDBは病院だけでなく、診療所のデータも取得されており、適切な名寄せを行うことで、医療機関間の転院や自治体をまたいだ転居を匿名のまま追跡できる。このようにNDBは既存の集計値にはない強み（全国悉皆性）を有するため、既存統計と補完的に用いることで精緻な実態把握が可能となる。

HIV感染症の患者数等については、拠点病院調査や感染症法の届出などに基づく集計があり、長年活用されている。本提出資料は、NDBを用いて従来調査と同様の集計を並行的に行い、従来調査を裏打ちすることを目的としており、第153回エイズ動向委員会（2019年8月）より継続してNDB集計資料を提出している。

今回の提出資料は、抗レトロウイルス療法（ART）を受けているHIV感染者が、悪性新生物や生活習慣病、ウイルス性肝炎と診断されている割合を、2014～2021年の経年で示したものである。なお、透析を受けているHIV感染者数も併せて示した。今回の集計は、全国悉皆性のあるデータベースを用いてHIV感染者の併存疾患の状況（疾病構造）を示した初の結果であり、HIV感染者への支援を検討する際の基礎統計のひとつとなる。

NDBでは、患者数1～9人の数値（例：1人、8人）や、逆算により1～9人を算出できる数値（48人－40人＝8人）を公表してはならないという規制がある（下線部は公表不可）。そのため、本資料においては、患者数が1人～10数人の箇所について、「少数のため公表せず」といったマスキング表記を施している。

本提出資料は、厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）「HIV感染症及びその併存疾患や関連医療費の実態把握のための研究」（2023年度～。代表：奈良県立医科大学・野田 龍也）の一環として作成された。集計に当たっては株式会社三菱総合研究所の技術協力を得るとともに、名古屋医療センター・横幕能行先生・今橋真弓先生、都立駒込病院・関谷綾子先生、奈良県立医科大学・山口尚希先生・菅野沙帆先生から重要な助言をいただいた。

提出表一覧

- 集計の概要
- 表 1. 疾患・診療行為別の受診者数
- 表 2. HIV 感染者（ART）のうち各疾患等の割合
- 表 3. 2014 年を基準とした各疾患等の受診者数の増減
- 表 4. 2014 年を基準とした「HIV 感染者中の各疾患の割合」の増減
- 表 5. HIV 感染者（ART）における悪性新生物の受診者数（性年齢階級別）
- 表 6. HIV 感染者（ART）における心疾患の受診者数（性年齢階級別）
- 表 7. HIV 感染者（ART）における脳血管疾患の受診者数（性年齢階級別）
- 表 8. HIV 感染者（ART）における高血圧の受診者数（性年齢階級別）
- 表 9. HIV 感染者（ART）における糖尿病の受診者数（性年齢階級別）
- 表 10. HIV 感染者（ART）における投薬中の糖尿病の受診者数（性年齢階級別）
- 表 11. HIV 感染者（ART）における B 型肝炎の受診者数（性年齢階級別）
- 表 12. HIV 感染者（ART）における C 型肝炎の受診者数（性年齢階級別）
- 表 13. HIV 感染者（ART）における透析を受けている患者数（性年齢階級別）

- 集計の概要

匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）を用いて、抗レトロウイルス療法（ART）を受けている HIV 感染者の併存疾患の割合と経年変化を集計した。具体的には、HIV 感染者（ART）について、併存疾患として、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病、B 型肝炎、C 型肝炎の各診断を受けている患者の数や割合を、2014 年から 2021 年の 8 年分集計した。なお、糖尿病については、投薬を受けている糖尿病患者に限定した内数を別に算出した。また、傷病名ではない診療行為として、維持的な人工透析を受けている患者の数も算出した。

- ・ 対象患者：HIV 感染者（ART）

2013 年 4 月～2022 年 3 月までに、抗 HIV 薬の処方を受けた患者を全体の集団とした。ただし、抗 HIV 剤処方においては新型コロナウイルス感染症治療目的と思われる処方を除外した。

- ・ 観察開始日と観察終了日

患者定義に該当した最初の日と、2014 年 1 月 1 日のうち、遅い方の日付を観察開始日とした。最後にレセプト（抗 HIV 薬処方、併存疾患に限定しない全てのレセプトを対象とする）が発生した日（死亡の場合は死亡日）と 2021 年 12 月のうち早い方の日付を観察終了日とした。

- ・ 併存疾患及び人工透析の定義

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病、B 型肝炎、C 型肝炎の傷病名が付与された患者をそれぞれの疾患の診断（確定傷病名）を受けている状態と定義した。

糖尿病（投薬中）については、研究班内の糖尿病臨床医の協力を得て、糖尿病に処方される医薬品のリストを作成し、傷病名＋処方の条件で集計をおこなった。

人工透析については、奈良医大公衆衛生学講座と腎臓内科学講座が共同で作成した維持期の人工透析の定義を利用した。

なお、この集計では、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病、B 型肝炎、C 型肝炎、糖尿病（投薬）、維持期の人工透析をまとめて、「各疾患等」と表記する。

- ・ 併存の定義

併存疾患については、疾患によらず、併存疾患の該当レセプトがある年のみ「併存疾患あり」と定義する。新規発症を確認するための look back 期間などは設けず、あくまで各疾患の有病者の割合を年ごとに示した。

- 表 1. 疾患・診療行為別の受診者数
- 表 2. HIV 感染者(ART)のうち各疾患等の割合

表 1 は、匿名医療保険等関連情報データベース (NDB) を用いて、HIV 感染者 (ART) の受診者数 (P とする。) と、P のうち各疾患に該当する受診者数を示したものである。

ART の普及により HIV 感染者の生存期間が延長していることもあり、HIV 感染者 (ART) は 2014 年の 18,175 人から 2021 年の 28,028 人へと増加している。

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病、糖尿病 (投薬)、B 型肝炎、C 型肝炎、透析のすべてで、HIV 感染者 (ART) における受診者数は増加している。

なお、今回の集計は糖尿病 (投薬) と透析を除き、確定傷病名のみを用いた疾患定義である。疑い病名が除外されているとは言え、寛解後のフォローアップ中の受診者や別の目的で確定診断名を付与した患者が含まれる (現に治療中の患者数よりも数が多くなる。) ことに注意が必要である。

糖尿病 (投薬) は疾患定義に糖尿病薬の処方を含んでおり、糖尿病の薬物治療を受けていることがほぼ確実である。維持期の人工透析も同様である。

維持期の人工透析を受けている HIV 感染者 (ART) は 2014 年の 67 人から 2021 年には 114 人へほぼ倍増しており、数は少ないものの、今後も増加が予想される。

表 2 は、HIV 感染者 (ART) の受診者数を 100 とした場合の各疾患の割合を示したものである。疾患ごとの重複は許容している。

経年変化はあるが、糖尿病、B 型肝炎、高血圧の順に有病率が高い。

表1. 疾患・診療行為別の受診者数

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
HIV感染者数(ART)	18175	20222	22073	23761	25166	26412	27446	28028
悪性新生物	1482	1611	1731	1841	1937	2057	2147	2254
心疾患	1868	2027	2272	2554	2747	2951	3147	3411
脳血管疾患	646	736	827	934	1016	1112	1179	1294
高血圧	3152	3570	3991	4465	4994	5601	6086	6643
糖尿病	6065	6608	7125	7370	7898	8606	9217	9807
糖尿病（投薬）	978	1087	1236	1397	1574	1760	2001	2283
B型肝炎	4412	4831	5566	6151	6817	7159	7630	8026
C型肝炎	1681	1760	1995	2114	2212	2314	2438	2503
透析	67	77	74	81	89	98	112	114

表2. HIV感染者(ART)のうち各疾患等の割合

HIV感染者での割合	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
HIV感染者数(ART)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
悪性新生物	8.2%	8.0%	7.8%	7.7%	7.7%	7.8%	7.8%	8.0%
心疾患	10.3%	10.0%	10.3%	10.7%	10.9%	11.2%	11.5%	12.2%
脳血管疾患	3.6%	3.6%	3.7%	3.9%	4.0%	4.2%	4.3%	4.6%
高血圧	17.3%	17.7%	18.1%	18.8%	19.8%	21.2%	22.2%	23.7%
糖尿病	33.4%	32.7%	32.3%	31.0%	31.4%	32.6%	33.6%	35.0%
糖尿病（投薬）	5.4%	5.4%	5.6%	5.9%	6.3%	6.7%	7.3%	8.1%
B型肝炎	24.3%	23.9%	25.2%	25.9%	27.1%	27.1%	27.8%	28.6%
C型肝炎	9.2%	8.7%	9.0%	8.9%	8.8%	8.8%	8.9%	8.9%
透析	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

- 表 3. 2014 年を基準とした各疾患等の受診者数の増減

表 3 は、HIV 感染者（ART）及び各疾患の経年変化を示したものである。2014 年における各疾患の受診者数を 1.00 と指数化して示している。

2014 年を 1.0 とした場合の変化率で、糖尿病（投薬）の受診者数増加率は 2.33 倍と最も高かった。HIV 感染者（ART）に占める割合として薬物治療を要する糖尿病の増加が顕著であることを意味しており、HIV 感染者における糖尿病対策の必要性が増加していることがわかる。

脳血管疾患（7 年間で 2.00 倍）、高血圧（7 年間で 2.11 倍）、心疾患（7 年間で 1.83 倍）と、循環器疾患に関連する疾患を併存する割合が増加している点も注意を要する。

維持期の人工透析の患者は、2014 年 67 人→2021 年 114 人と 1.7 倍になっており、絶対数はまだ少ないものの、生活習慣病の増加に伴い、腎機能障害から透析導入に至る患者が増えていると考えられる。

- 表 4. 2014 年を基準とした「HIV 感染者中の各疾患の割合」の増減

表 4 は、HIV 感染者（ART）に占める各疾患の割合が 7 年間でどう変化したかを示したものである。2014 年における各疾患の割合を 1.00 とし、その疾患の割合の経年変化を示している。表 1 及び表 3 で示した HIV 感染者(ART)における各疾患等の受診者数や割合は HIV 感染者(ART)自体の増加の影響を受ける。表 4 は、表 2 の「各疾患等の割合」を比率化して見やすくしたものであり、絶対数の増加ではなく割合の変化に着目することで、各疾患が HIV 感染者全体の中でどの程度拡大・縮小しているかの経年変化を示している。

表 4 では、糖尿病（投薬）の伸びが 1.51 倍ともっとも高く、薬物療法中の糖尿病が重要課題であることがより明確である。

高血圧（1.37 倍）、脳血管疾患（1.30 倍）、心疾患（1.18 倍）などの循環器疾患も HIV 感染者（ART）の中で増加している。

悪性新生物の割合は無変化または微減である。これは、HIV 関連の二次予防が普及していることにより、特に HIV 関連の悪性腫瘍の罹患者が減少している可能性や、悪性新生物は早期に寛解または死亡することが多く、慢性疾患のような患者の累積が少ないことの影響が考えられる。

C 型肝炎の割合は微減している。これは革新的な治療の登場により、C 型肝炎の寛解率が向上したことが背景として考えられる。

- 表 1～4 の総括

HIV 感染者について、高血圧・糖尿病・心疾患・脳血管疾患といった生活習慣病の管理が重要性を増している。特に、糖尿病（投薬）の増加は顕著であり、重要な課題である。HIV 感染者の増加に伴い、悪性新生物と診断される者自体は増加しているものの、HIV 感染者に占める割合は必ずしも増加していない。

今後は、悪性新生物の内訳や、傷病名以外の要素を加えた確実な疾患定義の導入により、HIV 感染者の併存疾患の状況をより精緻に捉えることが重要と考えられる。

表3. 2014年を基準とした各疾患等の受診者数の増減

受診者数の経年変化 (2014年患者数を1.0)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
HIV感染者数(ART)	1.00	1.11	1.21	1.31	1.38	1.45	1.51	1.54
悪性新生物	1.00	1.09	1.17	1.24	1.31	1.39	1.45	1.52
心疾患	1.00	1.09	1.22	1.37	1.47	1.58	1.68	1.83
脳血管疾患	1.00	1.14	1.28	1.45	1.57	1.72	1.83	2.00
高血圧	1.00	1.13	1.27	1.42	1.58	1.78	1.93	2.11
糖尿病	1.00	1.09	1.17	1.22	1.30	1.42	1.52	1.62
糖尿病(投薬)	1.00	1.11	1.26	1.43	1.61	1.80	2.05	2.33
B型肝炎	1.00	1.09	1.26	1.39	1.55	1.62	1.73	1.82
C型肝炎	1.00	1.05	1.19	1.26	1.32	1.38	1.45	1.49
透析	1.00	1.15	1.10	1.21	1.33	1.46	1.67	1.70

表4. 2014年を基準とした「HIV感染者中の各疾患の割合」の増減

受診者割合の経年変化 (2014年患者割合を1.0)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
悪性新生物	1.00	0.98	0.96	0.95	0.94	0.96	0.96	0.99
心疾患	1.00	0.98	1.00	1.05	1.06	1.09	1.12	1.18
脳血管疾患	1.00	1.02	1.05	1.11	1.14	1.18	1.21	1.30
高血圧	1.00	1.02	1.04	1.08	1.14	1.22	1.28	1.37
糖尿病	1.00	0.98	0.97	0.93	0.94	0.98	1.01	1.05
糖尿病(投薬)	1.00	1.00	1.04	1.09	1.16	1.24	1.35	1.51
B型肝炎	1.00	0.98	1.04	1.07	1.12	1.12	1.15	1.18
C型肝炎	1.00	0.94	0.98	0.96	0.95	0.95	0.96	0.97
透析	1.00	1.03	0.91	0.92	0.96	1.01	1.11	1.10

- 表 5. HIV 感染者（ART）における悪性新生物の受診者数（性年齢階級別）

表 5 は、HIV 感染者（ART）に占める悪性新生物の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年では 40～49 歳が最多(395 人) だが、 2021 年には 50～59 歳が最多(616 人) へとやや高齢化寄りに移行している。

男性の受診者数が圧倒的に多いが、女性でも 50～59 歳層が増加傾向であった。

表5. HIV感染者（ART）における悪性新生物の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	1353	1473	1582	1690	1773	1887	1983	2068
0～9歳	少数のため非公表							
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	37	33	33	29	36	26	33	37
30～39歳	225	218	188	181	171	175	158	148
40～49歳	395	445	487	521	510	528	538	489
50～59歳	286	318	352	397	435	479	527	616
60～69歳	281	315	352	356	369	373	377	385
70～79歳	103	113	135	167	211	258	284	323
80～89歳	23	28	33	37	40	46	64	66
90～歳	少数のため非公表							
女性 合計	129	138	149	151	164	170	164	186
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	18	16	16	14	13	17	11	13
40～49歳	39	42	45	42	40	44	45	45
50～59歳	38	38	45	49	58	55	51	59
60～69歳	21	28	25	24	30	30	33	42
70～79歳	11	10	13	16	16	18	18	19
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							
男女 総計	1482	1611	1731	1841	1937	2057	2147	2254

- 表 6. HIV 感染者（ART）における心疾患の受診者数（性年齢階級別）

表 6 は、HIV 感染者（ART）に占める心疾患の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年は 40～49 歳が最多(502 人) で、2021 年には 50～59 歳が最多(955 人) とやや高齢化寄りとなっている。

HIV 感染者では心血管イベントのリスクが高いとする研究もあり、一般集団よりも早期の発症がないかの確認が求められる。

表6. HIV感染者（ART）における心疾患の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	1713	1870	2106	2380	2559	2752	2943	3209
0～9歳	少数のため非公表							
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	55	53	55	69	51	53	50	48
30～39歳	218	215	209	242	242	227	207	234
40～49歳	502	532	657	720	720	749	742	738
50～59歳	381	443	490	575	657	713	826	955
60～69歳	346	399	449	473	521	590	623	669
70～79歳	178	189	197	238	291	335	390	444
80～89歳	30	36	44	58	73	79	100	116
90～歳	少数のため非公表							
女性 合計	155	157	166	174	188	199	204	202
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	少数のため非公表							
40～49歳	51	45	52	47	41	51	53	50
50～59歳	32	37	37	42	57	58	57	59
60～69歳	23	22	25	22	26	32	42	40
70～79歳	21	20	27	28	32	26	24	29
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							
男女 総計	1868	2027	2272	2554	2747	2951	3147	3411

- 表 7. HIV 感染者（ART）における脳血管疾患の受診者数（性年齢階級別）

表 7 は、HIV 感染者（ART）に占める脳血管疾患の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年は 40～49 歳が最多(152 人) だが、 2021 年には 50～59 歳が最多(353 人)とやや高齢化寄りとなっている。

表7. HIV感染者（ART）における脳血管疾患の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	592	684	765	858	936	1029	1092	1205
0～9歳	少数のため非公表							
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	56	51	46	49	38	56	54	39
40～49歳	152	177	204	219	215	210	219	228
50～59歳	127	153	182	222	261	296	326	353
60～69歳	143	180	187	205	213	241	241	288
70～79歳	86	89	109	126	166	179	183	214
80～89歳	21	28	31	32	39	39	63	72
90～歳	少数のため非公表							

女性 合計	54	52	62	76	80	83	87	89
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	少数のため非公表							
40～49歳	22	14	14	16	10	11	13	12
50～59歳	少数のため非公表							
60～69歳	少数のため非公表							
70～79歳	14	17	19	21	19	14	13	12
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							

男女 総計	646	736	827	934	1016	1112	1179	1294
-------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------

- 表 8. HIV 感染者（ART）における高血圧の受診者数（性年齢階級別）

表 8 は、HIV 感染者（ART）に占める高血圧の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年は 40～49 歳が最多(900 人) で、2021 年には 50～59 歳が最多(2,197 人)とやや高齢化寄りとなっている。

表8. HIV感染者（ART）における高血圧の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	2950	3359	3750	4189	4682	5249	5720	6254
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	30	28	29	26	28	34	29	30
30～39歳	270	274	275	285	289	284	279	292
40～49歳	900	1015	1167	1238	1328	1416	1494	1512
50～59歳	776	933	1029	1236	1457	1707	1914	2197
60～69歳	659	768	859	938	1001	1118	1197	1288
70～79歳	276	292	328	389	490	582	671	772
80～89歳	30程度	50程度	60程度	70程度	90程度	100程度	130程度	150程度
90～歳	少数のため非公表							
女性 合計	202	211	241	276	312	352	366	389
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	16	13	16	23	13	18	14	14
40～49歳	54	51	58	59	69	79	76	70
50～59歳	51	54	62	76	93	111	112	129
60～69歳	42	46	51	53	66	69	79	86
70～79歳	32	35	41	47	49	55	60	59
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							
男女 総計	3152	3570	3991	4465	4994	5601	6086	6643

- 表 9. HIV 感染者（ART）における糖尿病の受診者数（性年齢階級別）

表 9 は、HIV 感染者（ART）に占める糖尿病の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年は 40～49 歳が最多(1,902 人) で、 2021 年も 40～49 歳が最多(2,819 人) だが、50～59 歳(2,756 人)とほぼ拮抗している。

表9. HIV感染者（ART）における糖尿病の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	5575	6089	6568	6820	7321	8005	8590	9163
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	211	223	241	197	202	202	210	221
30～39歳	1114	1089	1053	996	977	1018	1057	1057
40～49歳	1902	2131	2381	2411	2546	2662	2802	2819
50～59歳	1153	1313	1425	1623	1840	2167	2400	2756
60～69歳	864	965	1047	1096	1166	1259	1317	1386
70～79歳	287	315	358	428	507	595	677	779
80～89歳	37	48	57	66	81	100	126	144
90～歳	少数のため非公表							

女性 合計	490	519	557	550	577	601	627	644
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	95	82	88	74	63	67	67	55
40～49歳	186	200	207	183	172	180	185	179
50～59歳	99	126	134	157	181	188	188	209
60～69歳	53	55	65	70	84	92	98	111
70～79歳	36	34	41	45	51	52	61	59
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							

男女 総計	6065	6608	7125	7370	7898	8606	9217	9807
-------	------	------	------	------	------	------	------	------

- 表 10. HIV 感染者（ART）における投薬中の糖尿病の受診者数（性年齢階級別）

表 10 は、HIV 感染者（ART）に占める投薬中の糖尿病の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年は 40～49 歳が最多(265 人) で、2021 年には 50～59 歳が最多(746 人)とや高齢化寄りかつ受診者数も顕著に増加している。

表10. HIV感染者（ART）における投薬中の糖尿病の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	919	1024	1161	1312	1482	1665	1896	2156
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	59	61	66	72	71	74	86	94
40～49歳	265	303	344	376	425	458	488	505
50～59歳	250	264	310	369	422	502	612	746
60～69歳	245	284	309	333	364	392	418	469
70～79歳	90	95	109	138	172	204	247	283
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							

女性 合計	59	63	75	85	92	95	105	127
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	少数のため非公表							
40～49歳	19	18	19	16	19	17	22	26
50～59歳	15	19	23	29	33	36	35	40
60～69歳	少数のため非公表							
70～79歳	14	13	13	13	14	13	15	13
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							

男女 総計	978	1087	1236	1397	1574	1760	2001	2283
-------	-----	------	------	------	------	------	------	------

- 表 11. HIV 感染者（ART）における B 型肝炎の受診者数（性年齢階級別）

表 11 は、HIV 感染者（ART）に占める B 型肝炎の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年、2021 年ともに 40～49 歳が最多であった。

表11. HIV感染者（ART）におけるB型肝炎の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	4232	4641	5365	5937	6583	6909	7378	7756
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	370	374	402	413	427	397	386	399
30～39歳	1250	1299	1442	1539	1639	1630	1643	1580
40～49歳	1534	1691	2026	2216	2462	2573	2696	2743
50～59歳	628	757	886	1052	1242	1401	1637	1912
60～69歳	345	404	475	544	596	643	696	743
70～79歳	90	96	111	154	191	227	276	332
80～89歳	10	13	16	14	20	33	39	43
90～歳	少数のため非公表							
女性 合計	180	190	201	214	234	250	252	270
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	43	42	42	36	43	45	42	42
40～49歳	70	71	78	82	83	85	81	89
50～59歳	41	50	47	57	61	66	67	79
60～69歳	10	12	14	19	28	33	37	34
70～79歳	少数のため非公表							
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	0	0	0	0	0	0	0	0
男女 総計	4412	4831	5566	6151	6817	7159	7630	8026

- 表 12. HIV 感染者（ART）における C 型肝炎の受診者数（性年齢階級別）

表 12 は、HIV 感染者（ART）に占める C 型肝炎の受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年、2021 年ともに 40～49 歳が最多であった。

表12. HIV感染者（ART）におけるC型肝炎の受診者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	1611	1688	1914	2025	2122	2223	2342	2411
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	少数のため非公表							
20～29歳	73	70	75	80	67	69	81	80
30～39歳	404	397	430	409	395	374	373	368
40～49歳	621	642	771	814	858	896	907	921
50～59歳	300	347	380	441	492	542	623	671
60～69歳	161	178	191	199	220	231	234	240
70～79歳	46	44	57	67	74	95	106	110
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	少数のため非公表							

女性 合計	70	72	81	89	90	91	96	92
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	少数のため非公表							
30～39歳	15	12	15	13	12	12	11	10
40～49歳	21	26	26	26	25	29	26	23
50～59歳	17	17	19	26	25	25	29	31
60～69歳	10	11	12	14	16	13	14	16
70～79歳	少数のため非公表							
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	0	0	0	0	0	0	0	0

男女 総計	1681	1760	1995	2114	2212	2314	2438	2503
-------	------	------	------	------	------	------	------	------

- 表 13. HIV 感染者（ART）における透析を受けている患者数（性年齢階級別）

表 13 は、HIV 感染者（ART）に占める維持的な人工透析を受けている受診者数を性年齢階級別に示したものである。

2014 年、2021 年ともに 50～59 歳が最多であった。

- 表 5～13 の総括

すべての疾患・診療行為において、男性の受診者数が圧倒的に多い。女性は総数が少なく、性年齢階級別の人数はばらつきが生じやすい。ただし、高血圧や糖尿病などの慢性疾患は年齢とともに増加する傾向が見られる。

多くの疾患で、2014 年時点では「40～49 歳」が最多だったものが、2021 年には「50～59 歳」が最多へと移行している。HIV 感染者の長期生存により、感染後に発症する慢性疾患の主流が高齢化していることを示している。

なお、HIV 感染者では、疾患の好発年齢が一般集団より若干低い傾向がみられる。一般集団で 60 代以降に多い心疾患・脳血管疾患・悪性新生物などが、HIV 感染者では 50 代前半に集中している。この結果の解釈については、一層の分析が必要である。

表13. HIV感染者（ART）における透析を受けている患者数（性年齢階級別）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
男性 合計	60程度	70程度	70程度	80程度	85程度	90程度	100程度	100程度
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	少数のため非公表							
40～49歳	13	15	16	21	21	26	31	26
50～59歳	20	19	16	18	23	23	32	35
60～69歳	18	23	21	22	26	28	26	31
70～79歳	少数のため非公表							
80～89歳	少数のため非公表							
90～歳	0	0	0	0	0	0	0	0
女性 合計	少数のため非公表							
0～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	少数のため非公表							
50～59歳	少数のため非公表							
60～69歳	少数のため非公表							
70～79歳	少数のため非公表							
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0
90～歳	0	0	0	0	0	0	0	0
男女 総計	67	77	74	81	89	98	112	114